

2024 年 8 月 26 日

## 2024 年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人要  
ホーム名 自立援助ホーム縁  
代表者・役職名 氏名 中野 清香 ホーム長

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成事業の名称

縁あって出会った縁を、もっともっと深めよう旅行

### 2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

・学校のカウンセラーをしている代表が、いきどころのない子供たちがたくさんいるのに受け皿である施設の数がまだまだ足りないと感じ、自立援助ホームの創設へと2020年に手を挙げ、2021年の広島市で自立援助ホームを開設しました。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

・施設で出会ったもの同士、ゆっくりとお互いの話をし、楽しい時間を共有することで、関係を深め、今後自立し、社会に出て行ったときに、お互いが頼れる存在になれるような絆づくりの一環となれるような旅行にしたいです。  
・楽しいだけではなく、決められた時間やルールを守って行動することの大事さなども学んでほしいです。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

・7月の夏休みに入って、入居者と職員とが大阪へ旅行。一日目はUSJに行き、朝から晩までしっかりと遊び、夜景を見て、二日目は南京町で食べ歩きやショッピングを楽しみ帰宅しました。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

・旅行前に3回、入居者5人と参加する職員3名が全員参加で旅行の計画など考え、どうやったらスムーズな移動ができるかなど、連絡や報告方法、集団行動について話し合いを行いました。連絡が取りやすいように、一人では行動しないように、ペアを作り行動することにしましたが、トイレに行くのに誰にも言わずに行ってしまう、はぐれてしまうことが旅行の最初にはありました。旅行の途中で、旅行前に決めた約束事の話などをもう一回確認し、きちんと報告連絡をして行動することの大切さを学び、2日目はスムーズに連絡を取り合い、集合時間にも遅れることなく、ペアで行動ができていました。

### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

・自立援助ホームは、各自の生活がそれぞれ違い、みんなで同じ時間にご飯を食べる等、合わせて行動することが少ないです。働いたり、学校に行っていたり、違う考え方や生活をしながら、共同生活を送るのは、とても難しいと感じました。全てをみんなに合わせる必要もないですが、人の意見を聞き、取り入れられる、柔軟な人になって欲しいと思います。





